

学位被授与者氏名	盛 達 (せい たつ)
論文題目	中国の労働市場
論文審査結果の要旨	<p>本論文は中国の労働市場を分析したものであり、以下の点が論証されている。第一に、中国の労働市場は恒常的な労働力不足に陥るとする見解が一般的になっているが、本論文は中国の労働需給の状況を検討し、沿岸部を中心とする労働力不足は中西部の大規模な公共投資と戸籍制度の制約によるもので、農村部には潜在的過剰人口が存在しており、農業の生産性の上昇と戸籍制度の改革が進めば、むしろ労働過剰が顕在化することが明らかにされている。第二に、職種別統計を利用しながら、単純労働者不足と新卒者市場における供給過剰という労働のミスマッチが存在することが説得的に明らかにされている。第三に、中国の失業率が4%と低位安定していることから雇用状況は良好とされるが、この失業率は統計範囲の狭さによるもので、農民工の失業や一時帰休者を含めれば、失業率は著しくなくなることが明らかにされている。</p> <p>以上の点は何れも興味深い論点であり、実証的に明らかにした点は評価できる。</p> <p>なお、章別の構成で、論理の展開が一部不明確な点があったこと、字体の不統一がみられることを指摘しておきたい。</p> <p>平成26年2月14日に、北九州市立大学北方キャンパス本館911号室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(経済学)として十分な内容であると判定した。</p>